

八丈島探検記～本編その3

贅田隼人（だにえる）

今回は、2019年8月18日～22日に行ってきた八丈島の旅行記の21日、22日にあたる内容を書こうと思っていました。しかし、21日は前日とそう変わらない行動をしていて、22日は朝のフェリーに乗るために撤収くらいしかしていないので面白味が少なかったため、おすすめのスポットを紹介しようと思います。

まずは温泉から。八丈島には7つの温泉（有料・無料・足湯など全部込）があります。全て三原山側（島の南側）にあるので、1日周遊券を買って温泉巡りの日を作るのも面白いかもしれません。僕が行った3か所を紹介します。

<末吉温泉 みはらしの湯>

入湯料500円で、海に面した絶景露天風呂に入れます。シャンプーなどが使えるので帰る前日に利用しました。お湯が熱めでしたが、天気も良く、海が綺麗だったのでしばらく眺めていたらのほほそになりました。

<洞輪沢温泉（ぼらわざわおんせん）>



みはらしの湯よりも奥に進むとある無料の温泉。正直、車などが無いと行くのが大変です。漁港に隣接する形で設置されているので観光客向けというより、漁師の体を温める目的だったのかも想像してしまいます。シャンプーなどは使用不可で、中も結構暗いのでお勧めはしにくいのですが、浴室内にボイラー音が響いていて目を瞑っていると自分が茹でられているかのような錯覚ができて楽しかったです。

<裏見ヶ滝温泉>

観光スポットの裏見ヶ滝のすぐ近くにある無料の温泉。洞輪沢温泉同様、シャンプーなどは使用不可。加えて、男女共用なので水着が必要です。お湯がぬるめなのでのんびりできるのもいい点だと思います。ここの先にやすらぎの湯、ブルーポート・スパザ・BOON、足湯きらめきと3つ温泉スポットがありますが、裏見ヶ滝温泉で

満足してしまうとそちらまで足が向かわないのがある意味問題。

<八丈島ジャージーカフェ>

スーパーあさぬまさんに隣接している小さなカフェです。島の食材を使ったアイスやソフトクリームなどが楽しめるのに加えて、コンセントやWiFi環境が整っているのでとても助かります。比較的空港が近いので、本来なら空港を利用する人のためにあるのかもしれませんが、キャンプに来ている人からしてもありがたい話です。キャンプ泊などの長期の外出では、電源の確保が問題の一つになるかと思います。もちろん、僕もモバイルバッテリーを持って行っていました。キャンプ場には電源がないので、こういう電源を利用できる場所が島内にあることが嬉しかったです。ふれあい牧場で食べたプリンが本当に美味しかったので、ジャージーカフェでも食べられたら最高なんですけど…。



<三原山>

八丈富士を「西山」とも呼ぶそうで、それに対をなす「東山」です。登山道まで林道を通ったり、駐車場も車三台おける程度の少なさだったりしますが、ヘゴがたくさん見られるなど、八丈島の植生が楽しめるのが魅力だと思います。また、三原山には硫黄成分によって青色もしくはエメラルドグリーンに見える硫黄沼や唐滝といった見どころもあるので、温泉と絡めて三原山を攻めるのもいいと思います。ちなみに、僕が登った時は霧が濃く出てしまったので頂上からの景色は味わえませんでした…。

<八丈富士>

三原山と違い、登山道までの道路が整備されていて、

車で行くのは難しくありません。自転車や徒歩で挑戦する場合は鉢巻道路沿いにあるふれあい牧場で休んでから行くのがいいと思います。登山道も手が入っており、なんと頂上まで大半が階段になっています。1000段を超える階段を乗り越えると自然あふれるカルデラがあり、振り返れば八丈島の街並みや滑走路が見える素晴らしい景色が広がっているので登る価値はあります。そのままお鉢巡りをしていくと、最高地点の標高854.3メートルにたどり着くことができます。お鉢巡りは細い道や風が強く吹くことがあるなど、やや注意が必要です。お鉢巡り以外にも、火口へ向かって進む道もあり、神社があるそうなので次に登る機会があれば行ってみたいと思っています。もう一度1000段以上の階段に挑む覚悟が準

備できたら、ですが…。

それと、以前八丈島と青ヶ島に行ったときの話になるので余談になってしまうのですが、お鉢巡りの最中にブロッケン現象を観測できたのが思い出深いです。自分の影が火口の中に漂う霧に大きく映り、虹のような輪がかかる景色はとても不思議な感じがしました。

以上で、僕の八丈島の話は終わりになります。2020年は遠出することができなかったのですが、2021年はどこかに出掛けて、自然を満喫したいと願うばかりです。

(完)